



日 時	2024年 7月 10日 (水)
	第 1部 14時 20分～15時 10分
	第 1.5部 16時 00分～16時 45分
	第 2部 18時 00分～19時 35分
場 所	板橋区立若木小学校 児童会室→多目的室→多目的室
出席者	第 1部 9名(【地域委員】6名、【行政委員】3名)
	第 1.5部 8名(【地域委員】6名、【行政委員】2名)
	第 2部 10名(【地域委員】8名、【行政委員】2名)
欠席者	※省略
傍聴人	第 1部 【教育長職務代理】1名、【若木小学校教職員】19名
	第 1.5部 【若木小学校教職員】4名
	第 2部 【教育長職務代理】1名、【若木小学校教職員】5名
議事内容	

I 第1部(14:20～15:05 迄)

CS委員が、教育課程の中で実施している代表委員会に参加した。若木小学校の代表委員会は、各委員会の委員長ならびに、計画運営委員の児童で構成されている。計画運営委員は、4年生以上の各学級から男女1名ずつ選出されており、他校では学級委員(昔の言い方では級長?)に該当するものである。

今回の代表委員会では、結論を出すことを目的とせず、まずは、「みんなが行きたくなる若木小学校」というテーマで小グループにより話し合われた。いわゆるワールドカフェ形式で実施している。代表委員らが持参したワークシートを拝見すると、若木小の良いところや課題が記載されており、その内容はCS委員から見ても適確な評価が数多く見られた。また、この持ち寄った意見からさらに考えて実現に移すための鍵は、仲間をいかに巻き込むかであり、このことを代表委員のある児童が意見を出す姿も見られた。本代表委員会では、魅力的な意見が数多く共有されたと考える。CS委員長からは、結びの言葉として代表委員の活動に対する価値付けならびに、代表委員の今後に期待しつつ、必要なことがあれば、教職員だけでなく、CS委員にお声かけ頂きたいことが語られた。

さて、現在の若木小学校のルールについては、学校のWebにて見直しをする計画が配信されている。しかし、昨年度の話合いの結果が細かなルールの見直しに終始しており、教育上有意義でないことから、第1回CS委員会ではもっと大括りでルールを作成していくのがよいのではないかという助言を行っている。今回の学校が考案したテーマはこれに基づいたものであった。

※第1回CS委員会 <https://www.ita.ed.jp/weblog/files/1310267/doc/97583/640644.pdf>

なお、今回の代表委員会を実施するまでには、事前に参加可能なCS委員と校長ならびに特活主任でオンラインによる協議を実施している。この中では、これまでのルールの場合、「挨拶」などルールにそぐわないものが混在していることから、こうしたことは切り分けて考える必要があること。

「挨拶」は社会常識であり、各家庭での指導が基本であること。また、本校に限ったことはではないが、子どもたちに挨拶を指導しつつも、必ずしも教員が保護者や地域の方などに挨拶ができていないことから、そうしたことを改める必要性などについても意見が出た。またさらに、なぜそのルールができていないのか教員が説明できない場合もあること。そもそも、そのルールを共通認識できていないことの課題も出された。例えば、「カチューシャ」については、学校のきまりでは禁止しているのではなく、運動時には外すというのがきまりであった。これは、児童の安全を守る視点からである。しかしながら、今年度学校から発出された保護者向けのお知らせには、「禁止」だけが記載されており、学校が定めたルールと齟齬が見られた。また、進学先の校長からは、ルールが細かいことによる弊害として、ルールに書かれていないことは「良し」とする意識があるとの話もあり、なぜダメなのか、どうしたら皆が気持ちよく過ごせるのか、こうしたことを児童らが自ら考えられるようにしていく必要があるとの話も出された。

なお、児童らは未成熟であり経験不足により必ずしも十分な判断ができない場合もある。特に、安全上必要な措置については、学校が示す必要があることも事実である。こうしたことも含めて、現在のルールとこれから策定する大括りのルールの関係性については検討していく必要があることも確認した。

今回、代表委員会で話し合われた内容については、別途学校から発信される情報にその詳細は委ねたい。

Ⅱ 第 1.5 部(16:00～16:45)

全国的には Next GIGA の話があるものの、端末の有効活用が本校に限らず必ずしも十分ではない学校がある。そこで、第 1 回 CS 委員会委員長挨拶内で紹介のコンテンツについて、光文書院を学校に招聘し、詳細な説明を受けることとした。なお、当該企業からは既に製品化されているものの、実証実験という形で年度末まで教材の無償提供をいただける旨、提案をいただいている。また、CS 委員による教材理解を深めるために、学校側のみならず、CS 委員にもお声かけし、説明を聞く機会を設けた。なお、本会は教職員、CS 委員は任意参加の形で案内した。魅力的ツールであることと、今年度中は予算を伴わず教員ならびに児童らに体験させることができることから、校長には前向きに検討するよう求めた。なお、くれぐれも気を付けたい点として、活用自体が目的にならないことである。あくまで、良い授業を行うためにどうしたらよいか、そうしたことを考える中で自然と取り扱われることが望まれる。また、デジタル教材は保護者が何をやっているのか見えづらい部分がある。学校は、家庭の協力が無い限り、学力の向上は望めない。よって、協力が得られるように見える化や教材活用の意図、保護者がどのように何を確認したらよいか等、こうした発信についても望みたい。

Ⅱ 第 2 部(18:00～19:35 迄)

1 委員長が、オブザーバーの臨席について承認した。また、委員長が本日の代表委員会の様子を紹介するとともに、その準備に至るまでの苦労を推察し、担当教員をねぎらい、挨拶した。

2 校長より

(1) 1 学期の活動報告 (学習・行事・生活)

校長は、GIGA 端末を活用した授業実践事例についてその具体的な取組をもとに紹介した。また、校内研の取組について、1 年生での学級活動の事例を紹介した。校長はこうした授業の積み重ねが、やがては代表委員会での話し合いにもつながるだろうと思いを語った。このほか、児童集会の様子についても紹介し、次の目標設定について語った。

次に、6 月ふれあい月間について紹介するとともに、SOS ボックスを校長室前に設置し、困ったことがあった際にはいつでも相談できるようにという取り組みを開始したことを紹介した。1 か月経過し、6 件程度の相談があったと報告した。今のところ、その多くは、話をきくことで悩みが解消されているようであると報告した。

行事の紹介の中では、3 年生の自転車教室について紹介し、中台若木町会交通部にも協力いただいたこと、今後もこうした地域との関わりを大切にしたい旨、語った。また、6 年生の日光移動教室ではその様子を即時 web で保護者等に報告したところ、5,500 アクセスに至ったことを報告した。これまで、あまり有効に活用されてこなかった学校の Web についても一つの情報発信媒体として有効活用を心がけており、学校として今後も説明責任を果たしていこうとする意気込みが感じられた。また、5 年生の移動教室についても触れる中で、児童らが楽しく過ごしたい様子とともに、児童らの課題についても触れた。

(2) 学校評価について

校長が評価表について各委員から意見を聴取した。この手の評価項目には、一つの項目に複数の評価項目が入っており、結局のところ何を評価しているのかが分かりづらいという問題点がある。この点については、今一度学校側で精査することとなった。

(3) その他

校長は以下について報告した。

- ・朝の校庭開放事業視察報告→今後、課題点を明らかにして検討していきたい
- ・不登校対策「スダチ」→今後業者から提案を聞き検討したい
- ・学年便りの形式変更検討→学校便りと学年だよりの齟齬を防ぐ意味でも統一化をしたい。CS 委員会としてもその方向性を承認した。
- ・西門の電子錠設置要請→保護者からの声を反映して施錠を開始したが、開錠頻度が高くその対応に追われていることから、今後電子錠設置の方向で検討するとの報告があり、CS 委員会としても積極的にその方向性で対応することを求めた。

代表委員が話し合った内容について、教員が簡単に説明し、今後若木小のルールを子どもたちが決定していく際に、どのような方向性でまとめていくのが良いかについて、CS 委員から意見を聞いた。

はじめに、小グループで教員とともに CS 委員が意見を交流し、各グループによる発表を行った。これにより、全体で意見を共有した。CS 委員からは、代表委員の児童がかなり具体的な意見を出していることから、そのイメージをさらに深めていくよう指導していくことがよいこと。代表児童がさらにまとめ、クラスにおろし、またそこで各クラスが発達段階に応じた具体的内容を話していくのがよいのではないかなど意見が出た。なお、各クラスにその具体的な方策の話合いを依頼するにあたっては、各担任からではなく、計画運営委員の児童が直接依頼するのがよいのではないかとの意見もあった。また、さらに多くの意見をまとめるにあたっては、発達段階から難しい場合もある。この時に、他校の実践として、生成系 AI にまとめさせ、その内容をたたき台に児童らがまとめていく方法もあることがあわせて紹介された。

4 各委員から

CS 委員が「中台若木町会・若木小合同防災訓練（案）」について説明し、周知を行うとともに、学校開錠の都合から職員の派遣を校長に要請した。日時は令和 6 年 11 月 9 日(土)午前 10 時から正午を予定しているとのことであった。ここでは、避難所受入カードの記入など、実践的な訓練にしたい旨、語られた。

5 謝辞（副校長）

副校長が 4 月から校長が交替し、学校が変わった様子などが語られ、本会に対する謝意が述べられた。

CS 委員会年間予定について

年間予定は以下のとおりである

第 1 回 ~~令和 6 年 05 月 18 日 (土) 11:00~12:15~~

第 2 回 令和 6 年 07 月 10 日 (水) 第 1 部 14:20~15:05(代表委員会出席)

第 2 部 18:00~

第 3 回 令和 6 年 08 月 28 日 (水) エリア合同 場所 中台中学校 10:00 予定

第 4 回 令和 6 年 11 月 29 日(金) 18:00~

第 5 回 令和 7 年 01 月 18 日(土) 13:00~

配布資料	【学校側配布資料】 (1) 第 2 回若木小コミュニティ・スクール委員会次第 (2) 令和 6 年度 経営計画表・自己評価表・学校関係者評価表 (3) 令和 6 年度 第 2 回 CS 委員会 スライドハンドアウト (4) 株式会社 スダチ資料 (5) iCS フォーラム CS 委員長会議資料 (6) iCS レター 令和 6 年第 1 号 ~CS 委員会のキックオフミーティング~ 【CS 委員配布資料】 (7) 委員提供 「中台若木町会・若木小合同防災訓練（案）」		
	※(1)~(2)は事前配布有		
作成者	CS委員長	確認者	校長